

60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41
枯れ木も山の賑わい	鴨が葱を背負ってくる	亀の甲より年の功	果報は寝て待て	壁に耳あり障子に目あり	金は天下の回りもの	勝てば官軍	河童の川流れ	勝って兜の緒を締めよ	火中の栗を拾う	風邪は万病の因	風が吹けば桶屋が儲かる	蛙の面に水	蛙の子は蛙	親の心子知らず	思い立ったが吉日	溺れる者は藁をもつかむ	帯に短したすきに長し	鬼の目にも涙	鬼の霍乱

解答

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
つまらない、あるいは役に立たない物でも、無いよりはあったほうがましだということのたとえ。	鴨が葱を背負ってきたら、すぐに鴨鍋ができるように、都合が重なり、さらに都合がいいことのたとえ。	物事を始めようと決心したら、始める日を選ばずに、すぐに始めたほうが良いということ。	自分の利益にならないのに、あえて他人のために危険なことをするたとえ。	何かの名人であっても、油断したりして、時には失敗するということ。	隠し事はとにかく漏れやすいものだから、注意したほうが良いという戒め。	風邪を引くと体が弱り、他の病気にかかりやすくなるので、軽く見えてはいけないということ。	どんな目にあっても、何も感じていないかのように平気でいる様子。	普段は丈夫で病気にかかりそうにない人が、珍しく病気になること。	たとえ物事が思い通りにうまくいっても、気を緩めてはいけないということ。	お金は人から人へと渡っていくので、今は貧しくてもいつかは回ってきたり、入ってきたお金は出ていく物だ。	平凡な親からは平凡な子どもしか生まれないということ。子どもの才能などは、結局は親に似るものだということ。	非常に困ったり苦しんだりしている人が、頼りになりそうにないものにもすがろうとすることのたとえ。	年長者が身に付けた長年の経験や豊富な知識は大事にするべきだということ。	物事が中途半端で何にも使えず、役に立たないこと。	ある出来事が巡り巡って思わぬ結果を生じること。また、当てにならないことに期待をすること。	最終的に勝ったほうが理屈抜きで正義となり、負けたほうがすべて悪いということになるのが世の常だということ。	無慈悲で鬼のような人でも、時には同情したり、かわいそうに思ったりして涙をながすことのたとえ。	親の子どもへの愛情を知らないで、子どもは好き勝手にふるまうものだということ。	運は人の力ではどうすることもできないので、焦らずに待っていた方が幸運はやってくるものだということ。

記号